

# 生体構造機能学講座

## 解剖学・人類学分野

### 著 書

- 1 川久保善智, 竹下直美, 大野憲五: 三重津海軍所跡から出土した周産期人骨について. 幕末佐賀藩 三重津海軍所跡Ⅶ, IV章, 276-282, 2022, 3, 佐賀市教育委員会, 佐賀.
- 2 \*Sumi S, Nagamine T, Sumi K, Aijima R, Oka K, Toyofuku A: Modulation of intracellular dopamine signaling by aripiprazole may cause malocclusion as an extrapyramidal symptom. Atlas of Science, daily archives: October 24, 2022, 2022, 10, Web コンテンツ (<https://atlasofscience.org>).

### 原著論文

- 1 Mitsutake T, Nakazono H, Yoshizuka H, Taniguchi T, Sakamoto M: Increased trailing limb angle is associated with regular and stable trunk movements in patients with hemiplegia. J. Stroke Cerebrovasc. Dis. 31(2): 106242, 2022, 2.
- 2 Uchida Y, Shibata K, Kuraoka A, Uchida N, Aijima R, Danjo A, Yamashita Y: Observation of the posterior superior alveolar artery in the maxillary tuberosity region by computed tomography angiography: Pilot study using Japanese cadaveric specimens. J. Oral Maxillofac. Surg. Med. Pathol. 34(2): 108-114, 2022, 3.
- 3 Mitsutake T, Taniguchi T, Nakazono H, Yoshizuka H, Sakamoto M: Effects of noisy galvanic vestibular stimulation on the muscle activity and joint movements in different standing postures conditions. Front. Hum. Neurosci. 16: 891669, 2022, 6.
- 4 Yoshizuka H, Kuraoka A: Calcaneofibular ligament may act as a tensioner of peroneal tendons as revealed by a contactless three-dimensional scan system on cadavers. Sci. Rep. 12: 16650, 2022, 10.
- 5 Yoshizuka H, Taniguchi T, Fukuta K, Mitsutake T, Honda S: Decrease in medial meniscal extrusion after physical therapy to improve knee pain and range of motion in patients with knee osteoarthritis: A retrospective study. PLoS One 17(11): e0277628, 2022, 11.

### 症例報告

- 1 \*Sumi S, Nagamine T, Sumi K, Aijima R, Oka K, Toyofuku A: Open bite as an extrapyramidal side effect with aripiprazole, a dopamine partial agonist. Front. Psychiatry 13: 976387, 2022, 9.

### 学会発表

#### 国内全国規模の学会

- 1 末次文祥: 教育講演15「心臓のメディカルイラストレーション～先天性心疾患の解剖を学ぶために～」. 第23回日本成人先天性心疾患学会総会・学術集会. 2022, 1, 7-9.
- 2 末次文祥: 4つの心臓弁および冠動脈・心臓静脈が見える心臓透視断面図. 第6回日本メディカルイラストレーション学会 学術集会・総会 (オンライン開催). 2022, 3, 13.
- 3 川久保善智, 竹下直美, 大野憲五: 相同モデルを応用した顔面骨格からの鼻部形状復元. 第127回日本解剖学会総会・全国学術集会 (オンライン開催). 2022, 3, 27-29.
- 4 末次文祥: アート&サイエンスレクチャー01「心臓解剖図の描き方と手術イラストレーションのできるまで」. 第58回日本小児循環器学会総会・学術集会/第19回教育セミナー Basic Course (ハイ

ブリッド開催)。2022, 7, 21-23.

- 5 \*瀧川 渉, 川久保善智: 東日本縄文時代人の体量と基礎代謝量の推定. 第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会 (ハイブリッド開催). 2022, 9, 16-19.
- 6 川久保善智, 竹下直美, 大野憲五: 相同モデルを用いた男性の顔面骨格からの鼻部表面形状推定. 第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会(ハイブリッド開催). 2022, 9, 16-19.
- 7 菊池泰弘, 天野英輝, 萩原直道, 中務真人, 中野良彦, 清水大輔, 國松 豊, 辻川 寛, 高野 智, 石田英實: ナチョラピテクス上位胸椎の変形復元および形態特徴. 第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会 (ハイブリッド開催). 2022, 9, 16-19.
- 8 ○合島怜央奈, 隅 康二, 蒲原麻菜, 鶴岡祥子, 壇上 敦, 山下佳雄: 矯正治療中に発見した上顎側切歯の骨置換性吸収の1例. 3学会合同学術大会 (第32回日本口腔内科学会・第33回日本臨床口腔病理学会・第35回日本口腔診断学会) (ハイブリッド開催). 2022, 9, 23-24.
- 9 \*隅 聡子, 隅 康二, 合島怜央奈, 豊福 明: 薬剤性の錐体外路症状に関連する顎口腔症状としての開咬. 第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム (ハイブリッド開催). 2022, 10, 5-7.
- 10 吉塚久記, 中尾優太郎, 倉岡晃夫: 踵腓靭帯の走行角度の違いが機能に及ぼす影響: 伸縮性ひずみセンサと慣性センサを用いた機能解剖学的研究. 第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 (ハイブリッド開催). 2022, 11, 4-6.

#### 地方規模の学会

- 1 \*隅 聡子, 隅 康二, 合島怜央奈, 壇上 敦: 矯正治療及び歯周組織再生剤を応用した自家歯牙移植治療. 第17回九州矯正歯科学会学術大会, 2022, 2, 10-28 (オンデマンド配信).
- 2 ○中尾優太郎, 吉塚久記, 浅見豊子, 倉岡晃夫: 足関節前方引き出しテストの肢位条件に関する機能解剖学的研究: 慣性センサと伸縮性ひずみセンサを用いて. 日本解剖学会第78回九州支部学術集会. 2022, 10, 29.

#### その他の学会

- 1 末次文祥: 増え続ける成人先天性心疾患「イラストレーションで見る先天性心疾患」. 日本心エコー図学会第31回夏期講習会 (ハイブリッド開催). 2022, 7, 16-17.
- 2 ○村田祐造, 柴田健太郎, 本田裕子: 下垂体後葉ホルモンの腎臓への影響による血糖低下作用. 第12回国際医療福祉大学学会学術大会 (ハイブリッド開催). 2022, 8, 28.
- 3 \*西村信弘, 津端由香里, 柴田健太郎, 香月知真, 磯部 威: 分子標的治療薬と直接経口抗凝固薬併用時の薬物体内動態およびVTEリスクの評価. 第12回国際医療福祉大学学会学術大会 (ハイブリッド開催). 2022, 8, 28.

## 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	倉岡 晃夫	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	感圧測定システムによる踵腓靭帯の機能解析～靭帯損傷のテーラーメイド予防を目指して	650
講師	菊池 泰弘	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	1500万年前アフリカ産化石類人猿・ナチョラピテクスの脊柱復元	1,040
講師	菊池 泰弘	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	四肢体幹骨形態からみた白保人	650
助教	川久保善智	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	百年ぶりに発見された石田三成頭蓋石膏レプリカの三次元形態解析に基づく復顔	1,040

## 組織・神経解剖学分野

### 原著論文

- 1 Matsumoto A, Hara M, Ashenagar MS, Tokiya M, Sawada T, Iwasaka C, Furukawa T, Kitagawa K, Miyake Y, Hirota Y: Variant Allele of ALDH2, rs671, Associates with Attenuated Post-Vaccination Response in Anti-SARS-CoV-2 Spike Protein IgG: A Prospective Study in the Japanese General Population. *Vaccines (Basel)*. 2022 Jun 28; 10(7): 1035. doi: 10.3390/vaccines10071035.

### 学会発表

#### 国際規模の学会

- 1 Mizuho A Kido: TRPV1 contribute to facial mechanical hypersensitivity in atopic asthma mouse. 2nd TRP conference in Wakayama. 2022, 7, 30-31. abstract book.

#### 国内全国規模の学会

- 1 吉本怜子, 合島怜央奈, 大崎康吉, 曹愛琳, 高瑋琦, 内野加穂, 澤田孟志, 城戸瑞穂: 温度感受性イオンチャネル TRPV4 によるアクチン・ミオシンの調節と口腔粘膜創傷治癒の関連. 第127回日本解剖学会総会・全国学術集会 (全面 WEB 方式開催). 2022, 3, 27-29 (ライブ配信).
- 2 内野加穂, 吉本怜子, 澤田孟志, 高瑋琦, 曹愛琳, 本田裕子, 城戸瑞穂: 成長板軟骨の軟骨内骨化における TRPV4 の役割. 第127回日本解剖学会総会・全国学術集会 (全面 WEB 方式開催). 2022, 3, 27-29 (ライブ配信).
- 3 澤田孟志, 吉本怜子, 松本明子, 牧野優徳, 高瑋琦, 本田裕子, 内野加穂, 古賀龍之介, 福山哲平, 城戸瑞穂: アルデヒド脱水素酵素 2 欠失が喘息に与える影響. 第127回日本解剖学会総会・全国学術集会 (全面 WEB 方式開催). 2022, 3, 27-29 (ライブ配信).
- 4 城戸瑞穂, 吉本怜子, 西山めぐみ, 本田裕子, 内野加穂, 澤田孟志: 佐賀大学におけるオンライン・ライブ組織学実習 教育委員会シンポジウム. 第127回日本解剖学会総会・全国学術集会 (全面 WEB 方式開催), 指定シンポジウム SA07: コロナ禍での教育経験を今後どのように生かすか (教育委員会). 2022, 3, 27-29 (ライブ配信), 2022, 3, 27-29, 2022, 4, 8-5, 27 (オン

デマンド配信).

- 5 城戸瑞穂, 高瑋琦, 澤田孟志, 吉本怜子, 西山めぐみ, 福山哲平: 骨組織における力センサー Piezo チャネルの局在と骨減少 (2020年度研究助成成果報告). 第40回日本骨代謝学会学術集会 (ハイブリッド開催). 2022, 7, 22-23 (現地開催).
- 6 高瑋琦, 澤田孟志, 曹愛琳, 吉本怜子, 大内雅博, 福山哲平, 西山めぐみ, 大崎康吉, 城戸瑞穂: アレルギー性炎症マウスにおける骨減少. 第40回日本骨代謝学会学術集会 (ハイブリッド開催). 2022, 7, 22-23 (現地開催).
- 7 福山哲平, 西田寛汰, 吉本怜子, 澤田孟志, 高瑋琦, 城戸瑞穂: 軟骨原基への血管侵入とメカノセンサーイオンチャンネル. 第40回日本骨代謝学会学術集会 (ハイブリッド開催). 2022, 7, 22-23 (現地開催).
- 8 澤田孟志, 吉本怜子, 松本明子, 牧野優徳, 高瑋琦, 曹愛琳, 福山哲平, 古賀龍之介, 城戸瑞穂: アルデヒド脱水素酵素2欠失がアレルギー性喘息モデルマウスの上皮バリアと気道過敏性に与える影響. 第45回日本分子生物学会年会 日本生物物理学会 共催 (ハイブリッド開催). 2022, 11, 30-12, 2 (現地及びオンライン開催).
- 9 吉本怜子, 大崎康吉, 澤田孟志, 福山哲平, 古賀龍之介, 城戸瑞穂: 温度感受性イオンチャンネル TRPV4 は口腔粘膜上皮細胞内アクチン動態を制御する. 第45回日本分子生物学会年会 日本生物物理学会 共催 (ハイブリッド開催). 2022, 11, 30-12, 2 (現地及びオンライン開催).

#### 地方規模の学会

- 1 福山哲平, 西田寛汰, 吉本怜子, 澤田孟志, 高瑋琦, 城戸瑞穂: マウス軟骨原基への血管侵入に関わるメカノセンサーチャンネル. 日本解剖学会第78回九州支部学術集会. 2022, 10, 29.
- 2 曹愛琳, 高瑋琦, 澤田孟志, 吉本怜子, 合島怜央奈, 大崎康吉, 城戸瑞穂: マウス顔面の機械的感覚花瓶における三叉神経節の可塑性. 第64回日本顕微鏡学会九州支部集会・学術講演会. 2022, 12, 17.
- 3 福山哲平, 吉本怜子, 澤田孟志, 高瑋琦, 曹愛琳, 城戸瑞穂: 骨発生に伴う侵入血管の周辺微小環境とメカノセンサー. 第64回日本顕微鏡学会九州支部集会・学術講演会. 2022, 12, 17.
- 4 吉本怜子, 澤田孟志, 高瑋琦, 曹愛琳, 城戸瑞穂: 口腔上皮細胞におけるアクチン動態変化の観察. 第64回日本顕微鏡学会九州支部集会・学術講演会. 2022, 12, 17.

## 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	城戸 瑞穂	科学研究費助成事業	基盤研究(B)	1	メカノセンサーを標的とした歯周病制御	3,250
教授	城戸 瑞穂	科学研究費助成事業	基盤研究(B)	2	味細胞特殊イオンチャネルシナプスによる味覚神経伝達機構の全容解明	39
教授	城戸 瑞穂	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	メカノセンサー TRPV4 チャネルによる象牙質修復機構の解明	130
教授	城戸 瑞穂	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	女性医師のワークモチベーションを上昇させる動機づけモデルの樹立	65
助教	吉本 怜子	科学研究費助成事業	若手研究	1	口腔粘膜に発現するメカノセンサーイオンチャネルを標的とした上皮創傷治癒促進	1,560
助教	吉本 怜子	科学研究費助成事業	基盤研究(B)	2	メカノセンサーを標的とした歯周病制御	130
教授	城戸 瑞穂	2022年度生理学研究所	一般共同研究	1	TRP チャネルの温度感受性とアクトミオシン調節	311
教授	城戸 瑞穂	2022年度生理学研究所研究会		1	TRP 研究会「TRP チャネルのダイバーシティ」	380

## 学術(学会)賞

職名	氏名	学術(学会)賞名	受賞課題
修士課程	福山 哲平	第64回日本顕微鏡学会九州支部集会・学術講演会 学生優秀発表賞	骨発生に伴う侵入血管の周辺微小環境とメカノセンサー

## 器官・細胞生理学分野

### 学会発表

#### 地方規模の学会

- 1 塩谷孝夫：生理学のための PCR ジェノタイピング：Genome Trail 法による gDNA の Fast PCR 増幅. 第73回西日本生理学会. 2022, 10, 28-29, 長崎.

#### その他の学会

- 1 塩谷孝夫：筋生理学のための PCR ジェノタイピング：Genome Trail 法による gDNA の Fast PCR 増幅. 東京慈恵会医科大学主催「筋生理の集い」. 2022, 12, 10, 東京.

## 神経生理学分野

### 原著論文

- 1 \*Wang C, Fujita T, Yasuda H, Kumamoto E: Spontaneous excitatory transmission enhancement produced by linalool and its isomer geraniol in rat spinal substantia gelatinosa neurons - involvement of transient receptor potential channels. *Phytomedicine*, 2(1): 100155, 2022, 2.
- 2 \*Matsuno H, Tsuchimine S, O'Hashi K, Sakai K, Hattori K, Hidese S, Nakajima S, Chiba S, Yoshimura A, Fukuzato N, Kando M, Tatsumi M, Ogawa S, Ichinohe N, Kunugi H, Sohya K: Association between vascular endothelial growth factor-mediated blood-brain barrier dysfunction and stress-induced depression. *Mol Psychiatry*, 27(9): 3822-3832, 2022, 9.

### 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	安田 浩樹	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	不安を緩衝する腹側海馬神経回路の探索	1,170 (732)
教授	安田 浩樹	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	ストレス誘発性不安緩衝における海馬歯状回抑制性細胞の重要性	0
准教授	惣谷 和広	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	不安を緩衝する腹側海馬神経回路の探索	13 (10)

※ ( ) は繰越金で外数

## 薬理学分野

### 原著論文

- 1 \*Kurahashi M, Baker SA, Kito Y, Bartlett A, Hara M, Takeyama H, Hashitani H, Sanders KM: PDGFR $\alpha$ + Interstitial Cells are Effector Cells of PACAP Signaling in Mouse and Human Colon. *Cell Mol Gastroenterol Hepatol*, 14(2): 357-373, 2022.

### 学会発表

#### 国際規模の学会

- 1 \*Kurahashi M, Kito Y, Baker S, Hara M, Takeyama H, Hashitani H, Sanders KM: PDGFR $\alpha$ + INTERSTITIAL CELLS INTEGRATE INHIBITORY INPUTS BY VARIOUS SIGNALS TO COLONIC MOTILITY OF MOUSE AND HUMAN. DDW2022 (Hybrid event). 2022, 5, 21-24 (in-person and virtual), 2022, 5, 21-2023, 5, 3 (On Demand), SAN DIEGO, CA. *Gastroenterology*, 162: S-197.

#### 国内全国規模の学会

- 1 鬼頭 佳彦, 倉橋 正明: 交感神経によるマウス結腸運動制御機構. 第95回日本薬理学会年会(ハイブリッド開催). 2022, 3, 7-9(On-Site 及び Remote 開催), 福岡.
- 2 \*堀 正敏, 岸 和寿, 飯野 哲, 堀口 和秀, 鬼頭 佳彦, 中山 晋介, 梶 典幸: 糖尿病が引き起こすカハール介在細胞による消化管運動異常. 第64回日本平滑筋学会総会(WEB 開催). 2022, 7, 29-30(ライブ配信), 2022, 8, 10-31(オンデマンド配信), 名古屋.

- 3 \*堀 正敏, 岸 和寿, 飯野 哲, 堀口 和秀, 鬼頭 佳彦, 中山 晋介, 梶 典幸: I型糖尿病モデルマウスにおけるカハール介在細胞による消化管運動異常. 第24回日本神経消化器病学会(ハイブリッド開催). 2022, 9, 8-9(現地開催及びWEB配信), 旭川.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研究課題等	交付金額 (千円)
准教授	鬼頭 佳彦	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	運動療法による大腸リハビリテーション効果の解明	1,430 (430)
助教	山本 格士	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	メンブレントラフィック機能を応用した末梢血行障害に対する低侵襲性遺伝子治療の創成	1,040 (1,624)

※ ( ) は繰越金で外数